

|        |     |              |     |                 |       |       |
|--------|-----|--------------|-----|-----------------|-------|-------|
| 施策 No. | 政策名 | 快適な暮らしのまちづくり | 主管課 | 都市整備課           | 主管課長名 | 上野 俊一 |
| 5-4    | 施策名 | 公共交通の充実      | 関係課 | 企画課、商工観光課、学校教育課 |       |       |

1. 施策の目的と成果把握

| 目的             | 施策の対象  | 対象指標名                  | 単位     | 区分  | 29年度   | 30年度   | 元年度    | 2年度    | 3年度    |        |
|----------------|--|------------------------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                | 市民   |                        | ①桜川市人口 | 人   | 見込値    | 41,278 | 41,008 | 40,738 | 40,467 | 40,197 |
| 実績値            |  |                        |        |     | 41,278 | 40,483 | 39,692 |        |        |        |
|                |  |                        |        | 見込値 |        |        |        |        |        |        |
|                |  |                        |        | 実績値 |        |        |        |        |        |        |
|                |  |                        |        | 見込値 |        |        |        |        |        |        |
|                |  |                        |        | 実績値 |        |        |        |        |        |        |
| 的              | 施策の意図  | 成果指標名                  | 単位     | 区分  | 29年度   | 30年度   | 元年度    | 2年度    | 3年度    |        |
|                | 誰もが気軽に公共交通を利用して移動できている。  | ①市内の公共交通機関に満足している市民の割合 |        | %   | 目標値    | 20.0   | 22.0   | 24.0   | 26.0   | 28.0   |
| 実績値            |  |                        |        |     | 20.2   | 17.5   | 22.4   |        |        |        |
| ②コミュニティバスの利用者数 |  |                        | 人      | 目標値 | 18,000 | 38,400 | 68,400 | 72,600 | 76,800 |        |
|                |  |                        |        | 実績値 | 31,273 | 64,179 | 73,132 |        |        |        |
|                |  |                        |        | 目標値 |        |        |        |        |        |        |
|                |  |                        |        | 実績値 |        |        |        |        |        |        |
|                |  |                        |        | 目標値 |        |        |        |        |        |        |
|                |  |                        |        | 実績値 |        |        |        |        |        |        |
|                |  |                        | 目標値    |     |        |        |        |        |        |        |
|                |  |                        | 実績値    |     |        |        |        |        |        |        |
| 成果指標設定の考え方     | ①コミュニティバスの運行により、毎年1%程度の満足度上昇を予想している。今後、公共交通の充実に図り、令和3年度には市民の4人に1人以上が満足している状況を目指している。<br>②1便当たり2.5人の利用者数を目標値としたが、平成29年度後半より目標を上回る乗車状況のため見直しが必要である。そこで、桜川市地域公共交通再編実施計画に掲げた、平成33年度の1便当たり利用者数6.0人を目標値とする。(平日:28便×240日、土休日:23便×125日と想定) |                        |        |     |        |        |        |        |        |        |
| 成果指標の把握方法及算定式等 | ○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。<br>○①市内の公共交通機関に満足している市民の割合は、市民アンケートより求める。②コミュニティバスの利用者数は、運行事業者からの利用実績報告より求める。  |                        |        |     |        |        |        |        |        |        |

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

|       |   |   |  |
|-------|---|---|--|
| 実績比較  | <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した   | <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した | <input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態) |
|       | <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した  | <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した                 |  |
| 背景・要因 | 市民アンケートで把握している「市内の公共交通機関に満足している市民の割合」について、満足及びやや満足の割合が平成29年度20.2%、平成30年度17.5%と低下していたが、令和元年度は22.4%と増加に転じた。これは、コミュニティバスが定着したほかに、デマンドタクシー、桜川地域医療センター無料送迎ワゴンにより、市民が心配していた病院再編後の通院手段がかなり確保できているためだと思われる。<br>一方、コミュニティバスの利用者数は、平成29年度31,273人、平成30年度64,179人と倍増し、更に令和元年度73,132人と増加している。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3月の利用者数が想定より少なかったものの、通年では増加という結果であった。これは、高校生の通学利用が一層増加したほか、市民への周知がなされ、通学以外の日常生活の足として浸透してきたことによると思われる。また、土休日便で雨引観音や真壁のひなまつりなど観光利用も増加の要因と思われる。 |   |  |

2) 成果目標の達成状況

|       |   |  |  |
|-------|---|--|--|
| 実績比較  | <input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った   | <input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った | <input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった |
|       | <input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った   | <input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った                |  |
| 背景・要因 | 市民アンケートで把握している「市内の公共交通機関に満足している市民の割合」について、満足及びやや満足の割合が令和元年度22.4%であり、目標値の24.0%を下回った。この結果から、公共交通について、より一層の充実を求める意見があるものと考えられる。<br>コミュニティバスの利用者数は、令和元年度73,132人であり、目標値の68,400人を上回った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3月の利用者数が想定より少なかったものの、通年では目標値を上回るという結果であった。これは、平日の高校生による通学利用や土休日の観光利用が増えたことが要因であると考えられる。 |  |  |

3. 施策の成果実績に対する総括と今後の課題・方針

| 施策の成果実績に対する総括  | 今後の課題・方針   |
|--|--|
| <p>施策の目指す姿の実現に向けて設定した成果指標について、一部の成果指標で目標値に達しなかったものの、実績は年々上昇傾向にあり、おおむね目標値どおりの成果が出た。これには、以下の3つの事業が貢献したと考える。</p> <p>(1)コミュニティバス運行事業では、桜川市バスの運行時刻やルートの見直し、待合環境の整備を実施し、利便性の向上を図った。また、令和2年4月からの運行開始に向けて、桜川市内巡回ワゴンの導入準備を行った。</p> <p>(2)デマンド交通運行事業では、運行事業者との協議を行い、運転手の接客などサービス水準の改善を図った。</p> <p>(3)桜川市地域公共交通会議運行事業では、令和2年4月からの桜川市内巡回ワゴン導入を中心に、市内の公共交通整備について協議を行った。</p> | <p>今後、より良い公共交通網整備に向けて以下の取り組みを重点的に行う。</p> <p>(1)桜川市バスについて、つくバスとの円滑な接続を確保するため、運行ダイヤの見直しを行う。</p> <p>(2)令和2年4月から運行開始した市内巡回ワゴンの利用促進に取り組むと共に、利用状況を踏まえた運行改善を行う。</p> <p>(3)地域公共交通に対する市民の意識醸成を図る。</p> |